

進路支援部だより



群馬県立あさひ特別支援学校

2024.11.1 (金)

第9号

「秋はいつやって来るのか!?!」と心待ちにしていたのですが、朝の冷え込みなどから、やっと秋が感じられるようになってきました。各学部とも修学旅行が無事終わり、今月はいよいよ「あさひ学習発表会」が開催します。保護者の方だけでなく外部のお客様も一部ではありますが、案内状を送付しています。日頃の学習の成果を存分に発揮し、スローガン「いっしょに喜びをつくろう 2024 ～その挑戦があさひを変える～」のように、皆で喜びを共有できますように。



☆PTA研修会・勉強会より☆

群馬県相談支援専門員協会理事長・米田真一様、みどり市障がい者基幹相談支援センター主任相談支援専門員・川島陽太様の2名をお迎えし、過日、PTA研修会・勉強会を開催しました。障害福祉制度の動向を知ることで『今の生活』と『卒業後など今後の生活』について見通しをもって考えるきっかけとなったようです。参加者の皆様よりたくさんのご感想をいただきました。一部抜粋したものを御紹介します。



参加者の感想より（抜粋）

- ・ 医療的ケア児を見てくれる施設がここ数年で増え、送迎などもしてもらえるなど、システムが大きく変わったことは感じていました。それは制度が充実してきたおかげなのだと、本日の講演でよくわかりました。相談員さんにつないでもらったおかげで、充実した生活を送れるようになり大変感謝しています。
- ・ 卒業後にどうしたらよいか？病院は？など、不安に思っていることがたくさんあったので、勉強会に参加させていただき、少し見通しがたったように感じました。
- ・ 入浴支援のことが聞けてよかったです。「困っていることを相談する。」は当たり前のことですが、上手く伝えられるか？誰に言うのか？と考えてしまうこともあるので、まずは、相談員さんに話してみようと思います。プロの目で見る「施設見学のポイント」を教えてもらったのはうれしかったです。施設見学の時に生かします。
- ・ 相談するときは、何に困っているのかを明確にしておくことが大切だと学びました。子どもが成長して体が大きくなったとき、親が病気で介助者が必要になったときなど、いろいろ考えられ得る事柄を予測しながら頼るべきところに頼れる柔軟性をもちたいと思いました。

『最低賃金』について



『最低賃金』とは、“働いて受けとる賃金の最低額”で、時給換算です。小さな商店や企業から大企業まで

事業規模にかかわらず、すべての「労働者」に適用されるもので、パートやアルバイト、外国人労働者等も含まれます。金額は各県で異なり、毎年10月に改定があります。テレビや新聞報道で御存知の方もいらっしゃると思いますが、改めてお知らせします。

関東(一都六県)	最低賃金(時給)
群馬	985円
栃木	1004円
茨城	1005円
埼玉	1078円
千葉	1076円
東京	1163円
神奈川	1162円

群馬県では、10月4日より時給985円となりました。(935円から50円アップ)。全国平均

は1055円で、関東地方の一都六県の中で千円を下回るのは群馬県だけです。

なお、一般事業所での就労はもちろんですが、福祉就労の中で、就労継続支援A型事業所も雇用契約を結びますので、最低

賃金をクリアしなければなりません。一方、就労継続支援B型事業所や就労移行支援事業所は、この限りではありません。

※B型は、最低賃金は保障されず「工賃」という扱い。就労移行は、「就労を目指して訓練を受けられる所(最長2年間)」で、賃金や工賃は発生しない。(移行のなかには、少し支給される事業所もあります)。

本の紹介

※個人でも購入できますが、後日、学校でまとめて注文をとる予定です。少しお安く購入できます。



平成6年度高等部卒業生で、現同窓会会長の宮内康裕氏が共同執筆された『肢体不自由者の自立と社会参加』という本です。2020年秋の発刊予定が、感染症(コロナ)の影響により先送りになっていましたが、このたび、ようやく発刊されました。

宮内氏を始め、本校卒業生が何人か関わっています。概略を掲載しますので、ご関心のある方は、ぜひ読んでみてはいかがでしょうか。

<Amazonブック紹介より抜粋>

- ・ 肢体不自由者7名のライフストーリーを通じて、肢体不自由者にとって「自立」とは何か、「自立はどうあるべきか」という問いについて、読者の皆さまにも考えていただきたいという思いから企画されました。
- ・ 肢体不自由児の「自分の夢」に関する作文も収められています。肢体不自由の成長と発達を支えている方々、特に親や教師の皆さまに読んでいただき、肢体不自由者の自立と社会参加に向けた実際の指導に役立てていただければと思います。
- ・ 7名の著者は、個性豊かで素晴らしい方々であり、それぞれ異なる優れた点をもっています。肢体不自由児にとっては、彼らが人生のモデルとなる方々です。

※ 詳細はQRコードから

